



国際会長主題
 アジア太平洋地域会長主題
 東日本区理事主題
 東新部部長主題
 クラブ会長主題

「世界とともにワイズメン」
 「100年を超えて変革しよう」
 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
 「何が問題か どうしたら良いか 道は一つではない」
 「老人だから、やめる を やめる 生涯現役」

キム・サンチュエ (韓国)
 大野 勉 (神戸ポート)
 大久保知宏 (宇都宮)
 松香光男 (東京コスモス)
 峰 毅 (東京世田谷)

会長 峰 毅
 副会長 小川 圭一
 書記 三浦 功雄

2021年9月会報

強調テーマ
 * E M C *

会計 小原 武夫
 直前会長 朝倉 正昭
 担当主事 江尻 明子

↑今月の聖句

高慢にふるまえば争いになるばかりだ。
 勧めを受け入れる人は知恵を得る。

Arrogance causes nothing but trouble.
 It is wiser to ask for advice.

旧約聖書 箴言 13章 10節 (小川 選)

- 司会 小川 圭一 君
1. 開会点鐘 峰 毅 会長
 2. ワイズソングと信条 一 同
 3. ゲストとビジター紹介 峰 毅 会長
 4. 今月の聖句朗読 寺門 文雄 君
 - 5 「生涯現役プログラム」
 「有料老人ホーム入所、そしてスローライフと黙想」
 三浦 功雄会員より
 6. ハッピーバースデイ 9月2日 寺門 文雄君
 9月14日 佐藤 環さん 9月15日村野 繫君
 結婚記念日 なし
 7. ニコニコ献金
 8. 諸報告
 9. 閉会点鐘 峰 毅 会長

※ 9月例会プログラム

とき 令和3年9月17日(金) 18:30~19:30
 ところ 東京YMCA南コミュニティセンター3F
 電話 03-3420-5361

ハイブリッド開催

8月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者	8/20日(金)	8月のBF	ニコニコファンド		
	出席率	100%	会員	14名	切手	0g	8月	6,205円
	第2例会	(中止)	メネット	0名	現金	0円	年度計	14,225円
			メイキャップ	0名	累計切手	0g		
			ゲスト	0名				
			ビジター(含むzoom)	2名				
			合計	16名				
			すずらん会	(中止)				
			ゲスト	名				
			スタッフ	名				
			合計	名				
			新型コロナウイルスの影響で		東京世田谷ワイズメンズクラブは 2020年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会(JOCS) に年会費10,000円を納入し継続しま した。		注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行って いる。 使用済み切手とワンコインの 献金など。	

※ 本日のメインプログラム

峰会長の生涯現役プログラムに沿って、三浦功雄さんに① 22才から65才まで、② 妻との死別、③ フランシスコ・ヴィラ入所、スローライフと黙想について。お話をいただきます。

※ 8月例会報告



峰会長の生涯現役プログラムに沿って、8月は佐藤百合子さんより卓話を頂きました。

私は、今から7年前に産業能率大学を退職し、ちょうどそのころ、東京女子大学同窓会の理事にという推薦をいただき応募することに致しました。そのほかにも「日本テレワーク協会」のアドバイザーや、小金井市男女共同参画室で、「かたらい」の編集、男女平等推進協議会の会長などをやっております。

テレワーク協会のアドバイザーは15年以上、編集委員も7、8年続いています。ただし、男女平等推進協議会は6年目で、今回が最終年度となります。2020年12月からは、「世田谷ボランティア協会を支える会」の会計をやることになりまして、ボランティア協会の方と一緒に、2019年度、2020年度の報告書をまとめています。これらはほとんどボランティア感覚でやっています。

この中で一番きつかったのは同窓会の理事で、その仕事は多岐にわたります。目の不自由な方への大きな絵本の作成や、結婚相談所もあります。バザーも大きな仕事です。そのほかにも、パソコン講座や生け花、英会話などの講座もあります。

まず、企画委員会の仕事とは、女子大の先生方を招いての講座や、バイオリンやピアノなどの演奏会の企画、そのほかのコンサートのチケットの斡旋や歌舞伎と文楽のチケットの斡旋をもやっております。今年は昨年引き続き新型コロナの影響で、5月6月にキリスト教講座、7月にガリバー旅行記と日本の物語、そして9月には文楽の三味線の方の講演、文楽のチケッ

トの斡旋などがあります。10月には、後期のキリスト教講座があり、来年の1月には歌舞伎のチケット斡旋と、2月には、ワインを作っている卒業生のお話を画像にのせてお送りするという話もあります。

これらに関しては、企画委員会は全員が可能ならば講座等に参加して、運営をしています。また、画像でのワイン関連のお話に関しては、私が中心になり、企画しています。コロナでなければ、もっと多くの企画があるところですが、今年は少し少なくなっています。

そのほかには、重要なものとして、同窓会グッズの企画があります。現在、ファイルが数種類、キーホルダー、ブローチ、長財布、財布、小銭入れ、扇子、ポーチ、小さいポット、絵葉書、コップ敷などがあります。これらを企画して、会社と交渉して、卸値段を決め、最終的に売る値段を決めます。これが結構難しく、中々決められないときもあります。

また、会員活動委員会では、卒業後10年を区切りに、20年、30年、40年、50年と、卒業生が集まる機会を作っています。昨年は、10年ごとの会はずべて中止になりましたが、今年は、50年の会をやりたいと計画しています。また、総会の時に、全国の支部長が集まるので、支部長会を開催しています。昨年から、新型コロナの影響で、Zoomでの会になっていますが、今のところ好評です。



私はこれらの活動に参加して、最初は必死にやっていたのですが、だんだん慣れてきて、今では少し楽になっていますし、むしろ楽しく思っています。それでも企画して、それを実行するという事は、大変で、外との交渉事も必要となります。しかし、副会長と事務局が助けてくれるので、楽になっているのです。これらの仕事の一番大事な点は、とにかく連絡をするという事です。どんなことでも、副会長(委員長も兼ねています)と事務長に連絡し、アドバイスを受けること

が必要になってきます。また、自分が担当するとき、自分だけが一生懸命やればよいと考えるかもしれませんが、周りの人たち、特に上の人たちに対して、連絡をし、相談をし、アドバイスを受けることが、とても大切になります。私も最初一人でやっていたのですが、それではうまくいかない、大変だという事がわかりまして、4年目からはそうしております。

ただ、今年は大変で、理事会や総会のやり方に対して、意見が出てきました。今まではなかったことです。特に会議が長いという事に問題があるようです。そこで、私は大学時代の講義も参考にし、会議のやり方に「ロバート議事規則」を取り入れるように提案し、議事録のとり方も提案しました。

これからどうなるかわかりませんが、来年の6月には退かなければなりませんので、最後のこととして、貢献したいと思っております。皆様も、会議のやり方や議事録の書き方などは正式に習ったことはないと思いますので、参考資料としてお配りしますが、特に「ロバート議事規則」について知っているという事は、特に重要だと思います。

私は、これから少しずつ現在の仕事から退いていくと思っておりますが、同時に何か新しいものを見つけて、一生懸命に、少し気楽に、仕事をしたいと思っております。ボランティアでやることは、私は仕事と思っておりますので、今後もこのありかたは変わらないと思っております。

※ Change ! 2022 推進委員会より

会員増強に思う

ワイズの未来を照らす若返り実行計画

会員増強事業主任 大川貴久(熱海)

- ① 例会の出席率 100%を目指した魅力ある例会運営
- ② オープン例会など、ゲスト歓迎例会の開催
- ③ 他クラブとの合同例会
- ④ 参加優先順位を上げる

会費を払ってでも入りたいクラブを目指せば自ずと新メンバーも集まってくるのでは、ドロップアウトするメンバーも少なくなるのでは。メンバー皆さまの「本気」と「やる気」でクラブの活性化を。

※ 第 25 回東新部部大会のご案内

開催日：2021年9月11日(土)

開催時間：13:30~16:30

Zoom方式で開催

東新部部長 松香光男(東京町田コスモス)

部大会実行委員長 太田勝人(東京町田スマイリング)

当日皆さま、30分前の13:00から入室できるように致しますので、

下記のURLを開いてご参加ください；

<https://zoom.us/j/4745332601?pwd=Q2VqQ0Vqc056WlVFU3JnWWVzemlTUT09>

ミーティングIDは：4745332601、

※ 熱海 伊豆山地区の土石流災害について

《YMCA 同盟の動き》

現地調査・支援に入っている NPO 団体(東日本大震災から YMCA とも協力関係のミッション系団体)からの依頼で高齢者の健康維持や子どもたちへの体操、レクリエーションプログラムへの指導者派遣を行っています。(週1回程度)現在はあくまで YMCA は指導者派遣のみ。これを継続していく中で現地の自治会、子ども会役員等との関係を深め今後の支援の要望など聞き、必要な活動に繋げていきたい。

《静岡 YMCA の動き》

・各地区のワイズや YMCA で募金など集めていただいたものは静岡 YMCA に窓口を1本化する。(ワイズ東日本区でも常任役員会にて決議)・YMCA 同盟が調査、検討している被災者支援プログラム等や今後、次の支援活動が行われる場合には静岡 YMCA、ワイズ富士山部としては全面的に協力する。

募金などをお集めいただき送金される場合は直接、静岡 YMCA までお願いいたします。

銀行名：三島信用金庫 熱海支店 普通口座

口座番号：1165698

口座名：特定非営利活動法人 静岡 YMCA

理事 稲田精治

「ご送金いただく場合」ご記入ください

所属クラブ：個人名：伊豆山支援

※ 会長通信

保健所を包括的に管轄する部署で業務に従事する中、感染症状況は悪化の一途を辿っている事を実感しています。

ワクチン会場の運営管理、濃厚接触者を探る疫学調査や、自宅療養になった感染者また濃厚接触者の健康観察、症状が重い感染者の入院調整など、濃厚なワークに加えて、独居高齢者の親族が、平日は勤務で不在である中、土日は親族と連絡を取り合い、不測の事態に備え、相談

と情報共有化を図っています。記録と電話対応に追われ、積み残す業務は幾何学的に増すばかりです。

ここに至り、漠然としたエビデンスなき期待感で動くのではなく、数値より現実を客観的に直視し、物事を成した際に、中長期的に何が起こるか想像力を高め、未来予測を正確に立て、冷静に現実的な対応をとる事の大切さを、強く体感しています。

(峰毅 記)

☀️ YMCA 保育園ねがい 植栽サポート

非常事態宣言で植栽サポートは休止中です。

写真のようなヒマワリを

来年はぜひ咲かせたいものです。



☀️ YMCA NEWS

1. 7月7日(水)～16日、東陽町コミュニティーセンターにて第6回平和展「長崎原爆被災写真パネル展」を開催。このパネル展は、平和といのちの大切さを訴えるために毎年行っているもので、これまでは広島の被災状況や子どもたちの絵画を展示してきたが、長崎のことも知ってほしいとの願いから、6回目となった今回は長崎原爆資料館からお借りした写真41点を展示した。
2. 7月17日、しののめYMCAこども園は初めての試みとして「みらいをまもろうSDGs チャリティーマルシェ@しののめYMCAこども園」を開催。園内には「こどもコーナー」、「SDGsクイズ」コーナー、「牛乳パックエコジオラマ展示」など、楽しみながら環境や貧困を考えるブースを設置したほか、フードパントリーのための食品寄付や、カンボジアへの制服寄付を呼びかけるブースも用意し、園児と保護者に好評であった。開催にあたっては多数の企業から物品のご寄付をいただいた他、保護者会「おひさま会」、「東京ベイサイドワイズメンズクラブ」にご協力をいただいた。
3. 8月24日から開催される東京パラリンピックの聖火

を全国各地でおこす「採火式」に、江東区内の高齢者施設を代表して、東京YMCAが運営するグランチャ東雲(江東区児童・高齢者総合施設)が協力。

4. 緊急事態宣言下の夏のプログラムを無事に終了した。子どもの体験の機会の確保、リーダーたちの経験の場として、たくさんの笑顔があふれる機会となった。ウイルスに対する正しい知識、自分の身を守る方法を学ぶ場としても有意義な機会であった。秋・冬へのプログラムについては感染拡大状況を鑑みながら、リーダー育成に主眼を置いて検討していく。
5. ワイズメンズクラブ主催の「ユースボランティアリーダーズフォーラム」、そして全国リーダー研修会共にオンラインの開催となるが、リーダーを派遣していく、他地域のYMCAの仲間と状況共有、良い学びの場・時間となることを期待する。

大切なのは、何を見るかである、

ほとんど関心の集まらなかった1964年の東京パラリンピックを、五輪よりむしろこちらが見たいと言ってルポに書いた文化人がいた。英文学者で評論家の中野好夫だ。ナショナリズムに流れがちな五輪にはない、心の温まる和やかさを感じたその文章にある。

「オリンピックのおかげで、小さく美しく開いた一輪の花」と中野は形容した。そんなささやかなイベントだったのである。半世紀を経たいま、往時とは比較にならぬほどパラアスリートは存在感を増し、その意義を社会が共有している。きのう開幕した大会に参加する選手は史上最多という。熱戦から目が離せない。

コロナ禍の真ただ中、五輪に続いて無観客となったのはやむを得ぬ措置だ。ただし学校単位での児童生徒の観戦プログラムは、希望すれば実施するそうである。インド型(デルタ型)の蔓延で2学期の授業さえピンチにさらされているだけに、やはり違和感が残る。行くべきかどうか、困惑している現場は少なくない。

「かけがえのない機会であり、教育的な効果が大きい」。そう強調する声を聞くが、不安を押し切ってまで生にこだわる必要があるかどうか。テレビ観戦でも十分に共生の価値は学べるだろう。「真剣に勝負は争いながらも、そこにはあくまで人間が動いていた」。57年前の中野の指摘だ。大切なのは、何を見るかである、

(日経新聞 春秋 2021. 8. 25 より)